

【中部ブロック】

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
応募様式

■ 記入票

項目	記入欄
1. 団体名	瀬戸市
2. 事業名	消防新庁舎整備事業
・事業内容 ※事業の内容を簡潔にご記入下さい	【消防新庁舎の建設】 既存の庁舎の老朽化により、移転新築するもの。それに併せて、更新期限を迎える通信指令設備を更新する。 【旧消防庁舎跡地の利活用】 庁舎移転後の跡地について、売却や定期借地など、民間活力を活かした手法・アイデアによる土地利用を行う。
・事業実施にあたり重視する点	事業費の圧縮、消防署特有の機能性を備えた施設 移転後の旧消防庁舎跡地の利活用
・事業の種類 ※該当する番号に○(複数可)	1.新設 <input checked="" type="checkbox"/> 2.建替え 3.改修 4.管理運営のみ 5.公有地活用 6.包括委託 <input checked="" type="checkbox"/> 7.その他 (庁舎移転後の跡地の活用)
・施設等の用途	消防本部、消防署、通信指令室(消防指令システム)
3. サウンディングの目的	瀬戸市はこれまでにPFIを活用したことが無く、今回計画している消防新庁舎整備事業への活用が可能か検討している段階であり、初期段階として、本事業に係る民間事業者の参入等について、その動向を知るため。 移転後の跡地については、売却や定期借地など、民間活力を活かした土地利用を検討しており、市場性の有無や活用におけるアイデアなどについて、広く事業者からの意見・提案を求めるもの。
4. 事業対象地の概要	
①所在地(交通情報含む)	愛知県瀬戸市内 新共栄橋北交差点付近(消防新庁舎) (名鉄瀬戸線「新瀬戸」駅、愛知環状鉄道「瀬戸市駅」、名鉄バス「瀬戸商工会議所前」) 愛知県瀬戸市苗場町101番地(既存庁舎) (名鉄瀬戸線「新瀬戸」駅、愛知環状鉄道「瀬戸市駅」、名鉄バス「苗場町」)
②敷地面積	2,000㎡~3,000㎡

③土地利用上の制約	準工業地域、商業地域、準防火地域等（消防新庁舎） 第1種住居地域（既存庁舎）	
④所有者	私有地（消防新庁舎） 市有地（既存庁舎）	
⑤周辺施設等	1km 圏内に、小学校、保健所、病院、警察署、市役所、鉄道駅（3 駅）等が立地	
⑥対象地周辺の一般的なイメージ	住宅地、商業地域（消防新庁舎） 住宅地（既存庁舎）	
⑦その他 （上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等）	消防新庁舎事業用地については、平成33年度に購入予定 移転後の跡地については、新消防庁舎の建設及び移転が完了した 後、既存庁舎建物を解体することで利用可	
5. 対象施設の概要		
5-1. 建物	既存	整備後(予定)
①施設名称	瀬戸市消防本部・消防署 瀬戸・尾張旭消防指令センター	同左
②施設の延床面積	約2,000㎡（車庫、倉庫等 含む。）	既存施設と同程度の規模を計画
③建物の構成（構造、階数）	RC 造 3 階建て	RC 造 4 階建て
④主な施設の内容、導入機能	事務室、会議室、厨房、食堂、 仮眠室、浴室、倉庫、書庫、車 庫	事務室、会議室、厨房、食堂、 仮眠室、浴室、倉庫、書庫、車 庫、出動準備室、乾燥室
⑤運営状況 （運営主体、事業手法 等）	市管理	【新消防庁舎】 検討中（食堂、無線機器等一部 設備の運営保守については、民 間活力を活かした運営を検討） 【旧消防庁舎跡地】 民間事業者（跡地は、売却や定 期借地などによる民間事業者の 自由なアイディアに基づく活用 を想定）
⑥その他 （上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等）	/	

5-2. インフラ系 (上下水道、道路等)	既存	整備後(予定)
①施設名称	/	/
②規模、能力 等		
③運営状況 (運営主体、事業手法 等)		
④その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		
6. 事業環境		
①人口、高齢化率	130,211 人 (H29.10.1 現在) 老年人口 (65 歳以上) 37,541 人 (28.8%) (H29.10.1 現在) // 32,432 人 (24.4%) (H24.10.1 現在)	
②対象地周辺の人口構成	年代別人口構成 年少 (0~14 歳)・・・4,167 人 生産年齢 (15~64 歳)・・・18,040 人 老年 (65 歳以上)・・・7,168 人 計 29,375 人 (H28.10.1 現在)	
③市民意見等	平成30年度以降に住民説明会開催予定	
7. 事業関連		
①現状及び課題	【新消防庁舎の建設事業】 既存庁舎は、平成34年に築50年を迎え、老朽化が著しくなっており、また、消防指令システムについても平成33年に更新期限を迎える。そのため、庁舎移転に併せて消防指令システムを更新する計画となるが、両事業に係る多大な費用負担が課題となっている。 【旧消防庁舎跡地の利活用】 既存消防庁舎が立地する場所は、第一種住居地域となっており、近隣に商業施設、総合病院、幼稚園などの都市機能が集積した利便性の高く人口の密集したエリアである。また、名鉄瀬戸線新瀬戸駅及び愛知環状鉄道瀬戸市駅まで徒歩数分圏内であり、名古屋市及び豊田市へのアクセスも良好な非常にポテンシャルの高いエリアとして、様々な土地利用の可能性を見出すことができる。	
②目的、考え方・基本方針	既に実施した適地選定調査結果に基づき、新共栄橋北交差点付近	
③前提条件	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな出勤が図れるような動線を確保すること。 ・多くの活動資機材が収納できる倉庫等を設けること。 ・多様な訓練が実施できるような設備（訓練塔）を設けること。 ・女性職員専用スペースを確保すること。 	
④事業スケジュール(案)	平成32年度設計、平成33年度及び平成34年度建設工事、平成34年度消防指令システム更新設置、平成35年度運用開始	

